

## ◇これは、誰のもの？

【Q】 小学校3年生の男子の保護者です。我が家では、月300円のお小遣いをあげ、その中で欲しい物を買うようにしています。しかし、最近、息子がどう考えても自分のお小遣いでは買えない物を持っています。友達に借りたのか、それとも店から…。親として、どう対応したらよいでしょうか。

【A】 情報化社会に生きる現代の子どもたちは、周囲に物が満ち、欲望を刺激する宣伝や広告の中で生活しています。お子さんの様子に「あれ？」と感じたときには、そのときを逃さずに事実の確認をするなど、声かけをしていくことが重要です。

### ①事実の確認から

まず、落ち着いてお子さんの声に耳を傾けてあげてください。「どうしたの？それ、あなたのお小遣いでは買えそうにないと思うけど。」「お友達に借りたの？お友達のご家庭にもお礼しないとね」などと、冷静に問いかけてください。

### ②お子さんと一緒に対応

もし、万引きだったり、友達の家からとってきてしまったりしていた場合、つい感情的に叱りがちですが、ここは冷静に親の気持ちを伝えながら、いけないことをきちんと説き、納得させることが大切です。その上で、お子さんと一緒にお店や友達の家へ謝りに行くとよいでしょう。

このような対応をすることで、子どもは、自分のしたことの意味を理解し、行動に責任を持つこと、悪いことをしたら謝らなければいけないことを学びます。また、親の謝る姿から、一緒に来てくれたことへの感謝と、もう絶対にしないという気持ちを強固にします。

### ③心を育む

欲しい物を何でもすぐ買ってあげていませんか。期間等を決めて、我慢する経験が必要です。また、自分の持ち物に名前を書かせたり、友達との物の貸し借りに伴う責任やモラルを具体的に学び取らせたりすることを通して、物を大切にすることを育てていくことも大切です。

### ④学校や相談機関との連携

子どもの万引きや盗みの背景には、様々な問題が隠されています。特に低年齢の子どもほど、無意識のうちに問題行動をとっている場合があります。お子さんが語らない場合は、学校に相談してみましょ。そして、先生と一緒に、お子さんの健やかな成長を願って対応していきましょう。

川越市立教育センター分室（リバーラ）でも、教育に関する様々な相談をお受けしておりますので、ご利用ください。